



# Information

金属 3D プリンターのリーディング企業を目指す

## ニコン、SLM 社の増資引受け及び同社に対する公開買付け実施決定

2022 年 9 月 2 日

- 買付価格1株当たり20.00ユーロ、取引総額は622百万ユーロ
- ニコンは SLM 社の発行済株式数の約10%を引受け
- ニコンは既に SLM 社の完全希薄化後株式数の合計61.1%を確保
- SLM 社のマネジメント・ボードとスーパーバイザリー・ボードは本取引を歓迎し賛同

**【東京 2022年9月2日】** 株式会社ニコン(以下、「当社」)は本日、独リューベックに本社を置く世界有数の金属アディティブマニュファクチャリング(以下、「金属 AM」) 専門会社の 1 社である SLM Solutions Group AG(フランクフルト証券取引所上場。以下、「SLM 社」)と投資契約(以下、「本投資契約」)を締結しましたのでお知らせします。これに関連し、当社が発行済株式の全てを保有する子会社であり、特別目的会社である Nikon AM. AG(以下、「買付者」)を通じ、ニコンは SLM 社の完全希薄化後発行済全株式に対し、ドイツ法に基づく任意的公開買付け(以下「本公開買付け」)を実施することを決定しました。本公開買付けは SLM 社株主に対して 1 株あたり現金 20.00 ユーロで買付けを実施する予定です。買付価格は SLM 社の 2022 年 9 月 1 日を含む過去 3 か月間の XETRA 出来高加重平均株価に対して 83.7% のプレミアムの水準となります。加えて、買付者は SLM 社が発行した所定の転換社債の取得に向け、別途公開買付けを実施することも決定しました。本取引の取引総額は 622 百万ユーロ(840 億円)です。

\*本書を通じ、便宜上、1 ユーロ当たり 135.00 円で換算しております。以下同じです。

SLM 社の株式及び転換社債を保有する Elliott International, L.P.、ENA Investment Capital LLP 及び SLM 社創業者の Hans-Joachim Ihde は、今回の取引に賛同しており、買付者との間で、公開買付けへの応募につき、取消不能契約を締結しております。加えて、買付者は、SLM 社との間で、SLM 社の発行済株式の約 10%を、既存株主に対する新株引受権の付与を伴わない増資により公開買付け価格ベースにて引き受けることに合意しております。増資の引受けは本公開買付けの成否にかかわらず実行を予定しており、当社の SLM 社買収に対する強いコミットメントを表しています。結果的に当社は SLM 社の完全希薄化後全株式の 61.1%を既に確保しております。

本公開買付けにおいては、応募株式数の下限を設定しておりません。なお、本公開買付けの完了は、外資規制のクリアランス、SLM 社が債務超過の状態にないこと、及び一定の例外を除き資本政策が行われないことを条件に実施される予定です。

### SLM 社のマネジメント・ボード及びスーパーバイザリー・ボードは本公開買付けを歓迎し賛同

SLM 社のマネジメント・ボード及びスーパーバイザリー・ボードは、ニコンによる本公開買付け及び増資(以下、「本買収」)を歓迎、賛同しています。本買収は SLM 社株主及び従業員にとって非常に魅力的な機会であり、SLM 社が将来にわたり金属 AM の事業をスピード感を持って成長を続け顧客に最良の製品・サービスを提供していくことができるようになるとしています。さらに、公開買付けの公示文書の審査を条件として、SLM 社のマネジメント・ボード及びスーパーバイザリー・ボードは SLM 社の株主に対しても本公開買付けに応募することを推奨し、自らが保有する SLM 社株式を応募する意向です。

当社代表取締役 兼 社長執行役員の馬立稔和は次のように述べています。

「本買収は、中期経営計画で定めた2030年のありたい姿である「人と機械が共創する社会の中心企業」の実現に向けた、重要なステップです。戦略事業に位置付けているデジタルマニュファクチャリング事業において、有望市場である金属AM領域で新たな価値創造を目指します。金属AM装置は、複雑な部品製造を実現し、製造時間の短縮、CO<sub>2</sub>排出量、エネルギーコスト、廃棄物の削減に貢献し、ものづくりの世界に革新をもたらすと考えています。当社と、世界有数の金属AM専門会社であるSLM社は、技術による革新がものづくりの未来を変えるというビジョンを共有しています。本買収により、当社のデジタルマニュファクチャリング事業をさらに成長させていきます。」

SLM社CEOのサム・オリアリーは次のように述べています。

「ニコンは、1世紀以上に亘り最先端の光学技術と精密機械を開発しています。私はSLMがニコンとパートナーを組み、テクノロジーリーダーシップを更に高めることを非常に歓迎しています。私たちは本件取引及びパートナーシップは我々の株主、従業員、お客様を含む全てのステークホルダーにとって最良であると確信しています。」

Elliott Investment Management L.P.の子会社であるElliott Advisors (UK) Limitedを代表してポートフォリオ・マネジャーであるナビール・バンジーは次のように述べています。

「当社は過去6年間にわたりSLM社に伴走し、アディティブマニュファクチャリングにおけるイノベーションと製品開発の推進をサポートできたことを喜ばしく思います。卓越した製造力と技術における深い知見を有するニコンは、SLM社の革新的な製品をさらに進化させ、市場を牽引していくと確信しています。」

### 事業上高い親和性と補完性

当社は、2030年のありたい姿として「人と機械が共創する社会の中心企業」となることを目指し、デジタルマニュファクチャリング事業を戦略事業と位置付けています。とりわけ、「3Dプリンティング」と呼ばれる金属を積層して加工する金属AMは、将来大きな成長が期待できる有望な領域であるとみています。本買収により、当社は、成長が期待される金属AM領域のグローバルリーダーとして、開発とイノベーションを加速させ、新たな革新的な製品・サービスを創出し、顧客層を拡大することができるようになります。当社は多様なエンドユーザーに対し、スピード感をもって総合的なソリューションを提供し、さらなるイノベーションと量産化につなげたいと考えています。

### 長期にわたるパートナーシップ構築に向けた包括的な合意

SLM社や当社のように技術とイノベーションを重視する企業の成功は、互いのブランドを信頼し合う熱意ある有能な経営陣と従業員の存在にかかっています。当社は本投資契約において、SLM社の現経営陣が継続して経営及び戦略遂行にあたる旨を明記しています。さらには、SLM社の従業員の雇用や労働評議会などの事業運営組織、リューベック本社、その他重要な事業運営についても、継続に係るコミットメントを記載しています。

### 案件概要

本公開買付けに要する資金は、原則、当社の手元現預金にて対応する予定です。本公開買付け終了後、SLM社は上場を維持することが最善の選択肢ではないと想定されることから、経済的に合理的であり、かつ市場環境が許容される場合においては、当社はSLM社の非上場化に向けた手続きを開始することを検討する予定です。

なお、当社は今後少なくとも3年間はDomination and Profit and Loss Transfer Agreement(支配及び損益移転契約)を締結しないことを、法的拘束力を有した本投資契約において確認しています。

### 今後のスケジュール

本公開買付けは、今後ドイツ連邦金融監督庁(Bundesanstalt für Finanzdienstleistungsaufsicht: BaFin)による公開買付け公示文書の審査を受けた上で開始されます。BaFinの承認後、本公開買付けの公示文書はドイツにおける有価証券の取得及び買付けに関する法律(Wertpapiererwerbs- und Übernahmegesetz)に基づき開示され、本公開買付け期間が開始されます。SLM社が発行した所定の転換社債に対する別途公開買付けも同時に実施されます。本公開買付け及びSLM社が発行した所定の転換社債に対する別途公開買付けの公示文書及び関連情報は次のサイトから入手いただけます。[www.dm-offer.com](http://www.dm-offer.com)

なお、本買収に関して、ファイナンシャル・アドバイザーとして三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、法務アドバイザーとしてモリソン・フォスター法律事務所から支援を受けています。

この件に関する問い合わせ先

●報道関係の問い合わせ先

株式会社ニコン 経営管理本部 広報部  
108-6290 東京都港区港南 2-15-3 品川インターシティ C 棟

上出・ダットワーニ  
03-6433-3741

ニコンについて

ニコンは、1917年の設立以来、国内外の市場において、光学技術のパイオニアとしての道を切り開いてきました。現在、高い技術力をもとに、デジタルカメラや双眼鏡などの映像製品から、FPD/半導体露光装置、顕微鏡、測定機などの産業用精密機械、さらに、ヘルスケアの領域においても、さまざまな製品、ソリューションを提供しています。今後、ニコンのコア技術を活かし、材料加工事業を始めとする新たな収益の柱を創出し、持続的・中長期的な企業価値向上を目指します。

詳細情報はウェブサイトをご覧ください。www.jp.nikon.com

SLM 社について

SLM 社は、金属アディティブマニュファクチャリング (AM) における統合ソリューションをグローバルで提供しています。金属 AM 業界の黎明期よりリードを続けており、全ての主な産業のお客様の長期的な成功の実現に向け、引き続き金属 AM の未来を牽引しています。SLM 社は世界で最大 12 個のレーザーを備え、1000ccm/h という業界で最高のビルドレートを実現する世界最速の金属アディティブマニュファクチャリング機器を提供しています。SLM 社は、全てのお客様の要望に応えるポートフォリオと、専門家チームによる全てのプロセスにおける緊密な連携により、効率性、生産性、収益性の最大化を通じて、投資に対するリターンを最大化をリードします。SLM 社は、AM は未来の製造の中心だと確信しており、お客様をその世界へ、今すぐ牽引する、実績と願望を持っています。

SLM 社はドイツ証券取引所に上場しており、カナダ、中国、フランス、インド、イタリア、日本、シンガポール、韓国、米国に拠点 (子会社) を構えています。

詳細情報はウェブサイトをご覧ください。www.slm-solutions.com

免責事項

本発表は情報提供のみを目的としたものであり、SLM 社株式の売却を勧誘するものではありません。本発表は SLM 社株式の購入の申込みを構成するものではなく、当社が何らかの表明を行うこと、又は法的拘束力のある合意を行うことを目的としたものではありません。本公開買付け (転換社債の公開買付けを含みます。以下同じ) に関する公示文書には重要な情報が含まれており、投資家及び SLM 社株式の保有者は、当該文書を確認することを強く推奨いたします。さらに、本公開買付けの対象となる SLM 社の有価証券の保有者は、公開買付公示文書の内容及び本公開買付けに関して十分な情報に基づく意思決定を行うため、独立した助言を得ていただくことを強く推奨いたします。

ドイツ及び米国以外の国・地域における本発表の公表、送付、配布又は流布については、それらを規制するドイツ及び米国以外の国・地域の法令による規制を受けることがあります。ドイツ若しくは米国の居住者ではない方、又はその他の理由により他の法域の法令の適用を受ける方は、これらの法域の法令についてご自身で確認し、これを遵守していただきますようお願いいたします。

**本発表は、そのリリース、公表又は配布が関連法令に違反することとなるいかなる法域においても、また、いかなる法域に対しても、その全部又は一部を問わず、リリース、公表又は配布を行うものではありません。**

米国の居住者は、以下の事項をご確認ください。

本公開買付けは、米国証券取引所法第 14 条(e)及び同条に基づくレギュレーション 14E に基づき、これに従って行われますが、本公開買付けは非米国企業の証券に対するものであり、米国以外の法域の開示・手続規則、基準及び慣行に従うこととなります。

法域によっては、本発表の公表又は配布が違法とされている場合や、一定の範囲の方に限って認められている場合があります。

**将来見通しに関する注記事項**

本発表は、当社、買付者及び SLM 社に関する「将来に関する記述(forward-looking statements)」またはそれに該当するものを含んでおります。本発表に記載される過去の事実以外の記述は将来に関する記述であることがあります。「～を目標としている(targets)」、「～を計画している(plans)」、「～と考えている(believes)」、「～と予想される(expects)」、「～を目的としている(aims)」、「～する意向である(intends)」、「～するつもりである(will)」、「～する可能性がある(may)」、「～が期待される(anticipates)」、「～と見込まれる(estimates)」、「～と予測する(projects)」及びこれらに類似する意味の単語や言葉、又はそれらの否定文は、将来に関する記述です。将来に関する記述には、(i) 今後の資本支出、費用、収入、利益、シナジー効果、経済動向、負債、財務状況、配当政策、損失及び将来予測、(ii) 事業及び経営戦略、及び、本公開買付けによって当社、買付者又は SLM 社にもたらされる潜在的なシナジー効果及び事業の拡大と成長、並びに (iii) 当社又は SLM 社の事業に対する政府規制の影響に関する記述を含みます。

将来に関する記述は、期待されている結果に重大な影響を与えうるリスクや不確実性を伴い、一定の重要な前提に基づいています。多くの要因により、実際の結果は、将来に関する記述において想定又は示唆されていたものと著しく異なることがあります。かかる不確実性やリスクに鑑み、本発表を閲覧される方は、その記述が行われた日付け時点における予想でしかない将来に関する記述に過度に依存しないようご注意ください。当社、買付者及び SLM 社は、適用法令により義務付けられる場合を除き、本発表に含まれる将来に関する記述又はその他の記述を更新する義務を負うものではありません。

本発表に記載又は言及されている記述は、一切、収益予想として行われているものではありません。